

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4 -	工業を振興する	産業振興部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
中小企業（製造業）の事業拡大に伴う設備投資に対する助成件数（累計）	件	13	16	18			24
工場の新規立地や増築に対する助成件数（累計）	件	25	31	35			43
関連事業							
企業立地等促進事業 波力発電関連分野での新産業創出促進事業 テクノフェア推進事業							
決算額							
	2年度	3年度	4年度	5年度			
事業費(千円)	108,871	139,908					
執行率(%)	72.39	91.90					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「企業の事業拡大や設備投資の支援」</p> <p>企業立地促進補助金として、令和3年度は事業所の新增設に係る施設整備助成4件、新規雇用助成2件、環境設備助成1件、持続可能な経営奨励助成1件を新たに適用承認しました。また、過年度からの継続で施設整備助成金24件、新規雇用助成1件、持続可能な経営奨励助成1件を交付し、市内企業の事業と雇用機会の拡大を促進しました。</p> <p>「企業間及び大学等との技術や情報の交流や、販路拡大を促す支援」</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、湘南ひらつかテクノフェアは開催中止となりましたが、実行委員会の事務局である平塚商工会議所が、販路拡大策としてリアル・オンライン見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」に出展する市内企業への補助を行いました。</p>							

「産学の共同研究による新製品、技術開発等の支援」

市内企業と大学による共同研究に補助することで、新たな技術開発につなげました。また、気候変動への具体的な対策である波力発電の海域実証において、ヤフー株式会社からの企業版ふるさと納税による寄附を受け、新しい波力発電、電池推進船の漁業利用、藻場の造成など、カーボンニュートラルに貢献する技術開発を支援しました。

施策を推進する上での「課題」

「企業の事業拡大や設備投資の支援」

新型コロナウイルス感染症の影響を受け投資に消極的だった企業の再投資を促進する必要があります。また、企業の脱炭素化に向けた設備投資や物価高騰に対する支援などが必要となります。

「企業間及び大学等との技術や情報の交流や、販路拡大を促す支援」

湘南ひらつかテクノフェアの終了に伴い、新たな工業支援策が必要となります。

「産学の共同研究による新製品、技術開発等の支援」

重点的に取組を促したい分野として補助率の引き上げを実施した新型コロナウイルス感染症対策や脱炭素に資する研究について、制度の認知度を高める必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「企業の事業拡大や設備投資の支援」

関係機関と連携し制度の周知を進めるとともに、社会の変化に合わせた支援策の見直しを図ります。

「企業間及び大学等との技術や情報の交流や、販路拡大を促す支援」

販路拡大のためのビジネスマッチングに関する補助など、関係機関と連携し必要な支援に取り組みます。

「産学の共同研究による新製品、技術開発等の支援」

制度の認知度を高めるため、これまでの周知方法に加えて、SNS等を活用した周知を行います。